

令和8年度 上田市立塩尻小学校 学校自己評価シート

学校教育目標		めざす子どもの姿（中期的目標）		総合評価			
(1)思いやりのある子ども (やさしさ) (2)じょうぶな子ども (たくましさ) (3)よく考える子ども (かしこさ) (4)最後までやりぬく子ども (ねばり強さ)		(1) 人の気持ちがわかり、思いやりのある言動がとれる子ども (2) 生活リズムを整え、病気やけがに気をつけて生活できる子ども (3) 進んで学習に取り組み、自分の考えを表現しようとする子ども (4) 本気で取り組み、粘り強くやり抜く子ども					
		今年度の重点目標					成果と課題
		1	探究するわたし				
		2	つながるわたし				
		3	行動するわたし				
領域	重点	評価項目	評価の観点	成果と課題	評価	改善策・向上策	
学校教育	支え合う学級	あいさつの充実	児童会のあいさつ運動を中心に、来校者や地域の中でも自分から進んであいさつする子どもを増やせたか。				
		認め合う関係づくり	自分と周りとの違いや良さに気づき、よりよい関係を築こうとする態度を育てるために、力を合わせて取り組んだり、課題を解決したりする経験を増やす活動場面や状況づくりを進めることができたか。				
		児童把握と個に応じた支援	Q-U・NINO 検査やアンケートで児童の状況や実態を把握し、必要に応じて個別の指導計画を作成しながら全職員が連携して支援することができたか。				
	学び合う授業	共に学びあうための構えをつくる	仲間と共に深める学習に向けて、発問と導入を大切にした対話のある授業づくりができたか。				
		自律して学ぶ力づくり	「つむぐ」等を活用し家庭学習の定着を図り、発達段階に応じて自主学習に取り組めるよう指導・支援できたか。				
		「できた」「分かった」と実感できる授業	子どもたちが自ら追究していくためのねらいをはっきりさせ、ねらいに沿ったまとめや振り返りの定着を設定できたか。				
	高め合う活動	自主性が伸びる活動づくり	個に応じた適切なめあてを設定し、目標に向けて粘り強く取り組む姿勢を指導・支援することができたか。				
		協働の学び	異学年・保育園・二中区小中との交流の場を定期的に計画し、互いや協働することの良さを実感し、相手の思いに近く活動づくりができたか。				
		地域との学び	地域資源（人材・素材等）を活かして、クラブ活動・生活科・総合的な学習を構想し取り組むことができたか。				
学校運営	地域との連携	情報の発信	学校、学年、学級だより、学校ホームページ等を通して、学校での児童の学びを保護者や地域へ発信することができたか。				
		PTA や地域の方々との連携	PTA や地域の方々との連携し、学校教育活動等の様々な活動を充実させることができたか。				

○評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できた D・・・達成できなかった